

ヤンプロジャパン研修の成果

国際標準化活動への動機

一般財団法人 日本品質保証機構

北関西試験センター 工場検査課

大塚 玲朗

© JQA 2015

現在の職務と過去の標準化活動

・ 現在の職務

工場検査員として、各種認証スキームにおける
工場調査業務(S-JQA, CSA, CCC, PSEなど)
過去にはIEC60335やPSE規格に基づく製品
安全試験業務に従事

・ 過去の標準化活動

ANF (Asia Network Forum)にて新しい認証ス
キームの開発に従事

© JQA 2015

ヤンプロジャパン研修

- 第二期(2013年1月~3月)に参加 (全11回)

講義内容:

国際標準の重要性(WTO/TBT協定,WTO政府調達協定,中国のWTO加盟)
 標準の種類(デファクト、デジュール、フォーラム、コンソーシアム)
 オープン戦略・クローズ戦略
 国際標準化のステップ(Ecmaを利用したファストトラック)
 標準化の失敗事例、成功事例
 IECとCENELEC、JTC1とANSIの関係
 IEC, ISO, ITUの組織形態と特徴
 知的財産権と国際標準化

© JQA 2015



ヤンプロジャパン研修

講義内容(続き):

交渉術(本音と建前、質と量の2面性、個人へのギブと組織へのギブ)
 会議術(二種類の根回し、建前で進める会議／本音で動かす人)
 闘争術(感覚効果の利用、勝利する組織形態)
 テーブルマナー
 英語での討論



興味あり!

© JQA 2015



ヤンプロ募集要項(講義内容)※抜粋

2. 英語能力

聞く、話す、読む、書く、発音する、計算する

3. 外交マナー

パーティー、テーブルマナー、訪問、挨拶

5. 人間のマネージメント(MOP)

不変と変化、食欲と金欲、自由と制約、自然と人工、回生と転生、質と量、それからタイミング、懲罰と救済、公益と私益

6. 組織のマネージメント(MOO)

組織で働く人の表と裏、有責任組織と無責任組織、質志向人と量志向人、低温温人と高温温人、考える人と覚える人、両知善行と節度、火事場に集う六種類の人々、漠然と生きる人

7. 成功する交渉術

意識の清濁、目的・相手・方法(5W1H)、理屈と感情(手段)、クチとアメとムチ(道具)、積極交渉と消極交渉、攻めのビジネスと守りのビジネス、フ・ム・テヒカの個人と組織の法則(守勢)、懇願、取引、恐喝(攻勢)、取引材料の価値判断、交渉相手へのギブ、力関係の理解、交渉の準備

8. 決定する会議術

常設と特設、必ず成功する会議、容器と規則、爆睡と覚醒、窃盗団と警備団、ロバート議事法、会議に集う五種類の人々

9. 勝利する闘争術

交渉の決裂と闘争の開始、感覚効果の利用、人質と間者の効用、上下の横割り組織と左右の縦割り組織、イヌ・ハチ(多産組織と体力戦闘、サル・ヒト(少産)組織と能力戦闘、人工的な組織の構築と維持、組織闘争勝利の四原則

10. 人と組織を動かす

人間人・道具人・機械人、調教と洗脳の活用、人心のプログラミング、ひたすら従う人の育成、自立し自律する人、コンセンサスの正体、ボケる人とハマる人、人と組織を動かす

© JQA 2015

信頼の先へ
Achieving Your Trust JQA

国際標準化活動への参加動機

・ 企業としての動機

ビジネスツールとしての国際標準



成功事例・失敗事例等の啓発活動

・ 個人としての動機

会社からの評価



標準化の成果は評価されにくい



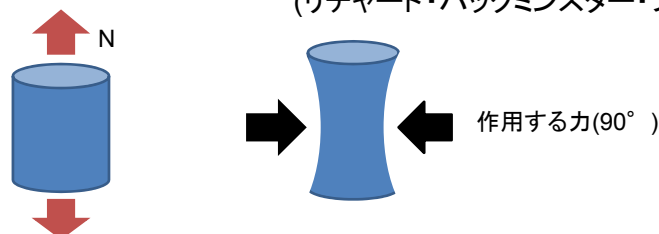
標準化活動を通じた
個人のスキルアップ
(交渉力・語学力・国際感覚)

© JQA 2015

信頼の先へ
Achieving Your Trust JQA

国際標準化活動と私

- 国際標準化活動と私のプリセッションな関係
プリセッション: 任意のベクトルNに対し90度方向に作用する力
(リチャード・バックミンスター・フラワー)



- 蜂は蜜を求めて花を周るが、その過程で受粉を成立させる。

© JQA 2015

ヤングプロフェッショナルプログラムの将来

- 国際標準化という切り口から交渉術・会議術・英語討論技術を学ぶ若手ビジネスリーダー養成スクール
- 異業種の同世代との人脈形成



- 国際標準化を通じたディベート技術
- 国際標準化を通じた英会話・英語ライティング講座
- 国際標準化を通じた経営戦略論
- 国際標準化を通じたヒューマンリソース・マネジメント
- 国際標準化を通じたテクノロジー・マネジメント
- 海外のヤングメンバーとの合同研修

© JQA 2015

ご静聴ありがとうございました。

© JQA 2015

